

目次

会社データ

社長挨拶	— 02
経営理念	— 03
会社概要・サービスセンター	— 04
群馬ヤクルトの歴史	— 06
ヤクルトの原点 代田イズム	— 11

ビジョン2035へ向けた活動

「共助社会の担い手」として	— 12
群馬ヤクルトのビジョンについて	— 13
一般社団法人 群馬県ポールウォーキング協会設立	— 14
Voice会議	— 16
ボイスの時間	— 17
マイスター制度の運用	— 18
子育て支援について	— 19
研修について	— 20
労働環境の整備	— 22
【トピックス】スポーツ社員の活動	— 23
全社横断プロジェクト	
└ ヤクルト子ども食堂プロジェクト2	— 24
└ スクール連携プロジェクト Season3	— 26
└ DXプラットフォームプロジェクト	— 28
└ 健康経営さくらMINTプロジェクト	— 30
地域連携の推進について	— 32
健康経営優良法人2025(ブライツ500)について	— 34
健康経営の推進について	— 36
健康教室について	— 40

部門紹介

2024年度 組織図	— 42
宅配サービス部／直販サービス部	— 43
未来価値創造部／人材開発部／総務部／DX推進部／広報部	— 44

報告 範囲

対象期間／2024年度
(2024年4月1日～2025年3月31日)
対象範囲／群馬ヤクルト販売株式会社

社長挨拶

共助社会の 担い手を目指して

はじめに、日頃より当社をご支持いただいているお客さま、お取引先さま、そして地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

近年、世界的な気候変動、AI技術の急速な進化、物価高騰など、社会経済環境は大きく変化しています。また、少子高齢化、医療費の増大や労働人口の減少といった課題がより深刻化しています。その中で、健康寿命の延伸や予防医療の重要性が、これまで以上に注目されるようになりました。こうした環境の変化に適応し、より多くの皆さまに「健康と美」をお届けすることが、私たちの果たすべき役割だと考えています。

2025年はヤクルト本社創業90周年、群馬ヤクルト創業70周年という、記念すべき節目の年となります。この長い歴史を支えてくださった全ての皆さまに、改めて深く御礼申し上げます。

当社はこれまで、お客さまや地域の方々、自治体、そして多くの関係者の皆さまと積極的な対話を重ねながら、健康社会の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。単に「商品を提供する企業」ではなく、「人々の健康を支えるヘルスケアカンパニー」として、地域に根ざした活動を行い、社会的な課題解決に貢献することを使命としています。

■「群馬ヤクルト Vision2035」に向けた挑戦

当社は将来の「ありたい姿」を明確化し、「群馬ヤクルト Vision2035 《共助社会の担い手になる》 ～ヤクルトの普及を通じて社会的課題を解決する～」という長期ビ

ジョンを掲げました。これは、単に企業としての成長を目指すだけではなく、地域社会とともに歩み、共に成長しながら、社会的な課題を解決していくという強い意志を表したものです。

このビジョンの実現に向けて、新ビジネスモデル構築プロジェクトやプラットフォームとしての新たなコミュニティ作りとして、ポールウォーキング協会の設立や、こども食堂の運営などに取り組んでいます。

また、労働環境の整備として、サービスセンターの週休3日制の導入、全従事者を対象に専門性を軸にしたマイスター制度などの人事制度の導入・運用を進めています。これにより、一人ひとりがやりがいを持ち、自律的に成長できる環境を整え、従事者が自らのキャリアを主体的に築きながら、会社とともに成長できる仕組みを強化し、働きがいのある職場づくりを行っています。

■ お客さまとともに歩む未来へ

一人でも多くの方に「健康と美」をお届けすることを使命に、笑顔・信頼・感謝の心を大切にしながら、健康社会の実現に向け、これからも努力を重ねてまいります。

今後も、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2025年4月1日 群馬ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 塩谷 輝行

経営理念

私たちの使命

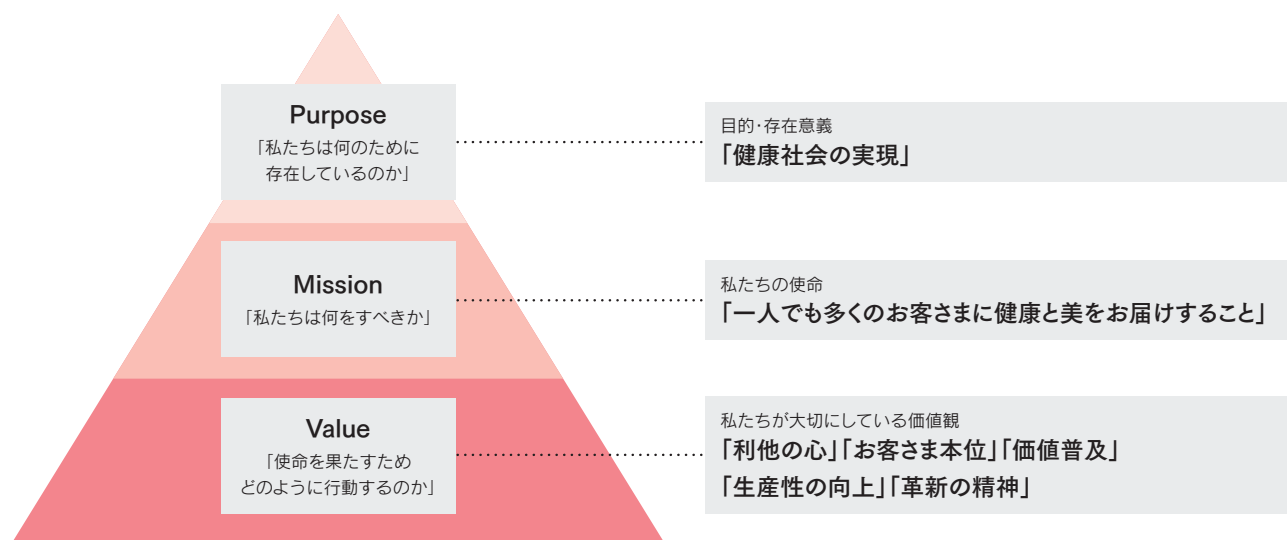
一人でも多くのお客さまに
「健康と美」をお届けすること

2024年度スローガン

基本を大切に！
～すべてはお客さまのために～

群馬ヤクルトのビジョン2035

「共助社会の担い手になる」～乳製品人口比20%を目指して～



会社データ

ビジョン2035

トピックス

全社戦略 ヘルスケアカンパニーへの進化とプラットフォーム型ビジネスモデル構築

私たちが大切にしている価値観

1

利他の心

真心を込めたサービスが
お客さまを幸せ(笑顔)にし、
私たちも幸せ(笑顔)に
します。

2

お客さま本位

全てはお客さま(そのご
家族、地域の人々も含めて)
のために。お客さまの
身になって考え、行動す
ることによって信頼関係を築き
ます。

3

価値普及

お客さまが求める価値を
知り、私たちが提供でき
る価値(商品・人・会社)
を一人でも多くのお客さ
まに必要とされる価値に
高めます。

4

生産性の向上

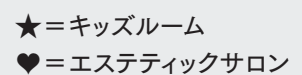
学び続けることで一人ひ
とりが成長し、会社全体
の成長に繋がります。

5

革新の精神

ビジョン実現に向け、必
要なプロセスを革新し続
け、社会的課題を解決し
ます。

部門紹介



会社概要

社名	群馬ヤクルト販売株式会社
所在地	〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-7-1
電話番号	027-251-8960
創業	1955年6月
設立	1971年5月
代表者	代表取締役会長 本田博己 代表取締役社長 塩谷輝行
資本金	41,640千円
年商	74億3千万円（2023年度実績）

取引銀行	群馬銀行・三井住友銀行など
従事者数	895名（2025年2月末時点） 社員：243名 乳製品スタッフ：614名 化粧品スタッフ：38名
事業所	前橋本店 出張所2か所 サービスセンター33か所 エステティックサロン20か所 キッズルーム16か所
事業内容	乳製品乳酸菌飲料・清涼飲料・食品・ 化粧品の販売

サービスセンター一覧

前橋東SC	前橋市天川大島町3-1-43	☎027-221-9575	藤岡SC	藤岡市中栗須字光明203-1	☎0274-50-1213
駒形SC	前橋市駒形町379-1	☎027-266-9087	藤岡南SC	藤岡市神田1360-1	☎0274-25-8511
前橋中央SC	前橋市平和町1-15-14	☎027-230-8755	渋川SC	渋川市渋川1970-17	☎0279-25-0172
問屋町SC	前橋市問屋町2-3-5 前橋問屋町ビル1階	☎027-251-8613	渋川北SC	渋川市赤城町敷島430-1	☎0279-56-3566
前橋北SC	前橋市富士見町原之郷309-1	☎027-225-9208	安中SC	安中市安中3-465-1	☎027-382-6908
富士見SC	前橋市富士見町時沢1141-1	☎027-212-9253	松井田SC	安中市松井田町新堀1358	☎027-393-3355
平成大橋SC	前橋市下石倉町27-14	☎027-253-7724	太田宝泉SC	太田市由良町1617-1	☎0276-55-6363
大胡SC	前橋市樋越町810	☎027-283-8686	境SC	伊勢崎市境西今井1-1	☎0270-76-4391
高崎北SC (旧群馬町SC)	高崎市棟高町82-1	☎027-372-2915	沼田SC	沼田市桜町1974-46	☎0278-23-1331
高崎問屋町駅前SC	高崎市貝沢町747-2	☎027-363-0500	笠懸SC	みどり市笠懸町久宮234-7	☎0277-77-2030
上並榎SC	高崎市上並榎町85-1	☎027-364-6913	富岡SC	富岡市七日市1108-1	☎0274-64-2161
高崎西SC	高崎市上豊岡町551-6	☎027-393-6472	みなかみSC	利根郡みなかみ町下牧625-1	☎0278-25-3591
高崎東SC	高崎市中居町4-2-1	☎027-350-1702	吉岡SC	北群馬郡吉岡町北下1213-1	☎0279-54-1423
高崎中央SC	高崎市あら町6-14 高崎シティーあら町ビル1F	☎027-326-0241	中之条SC	吾妻郡中之条町大字伊勢町川端20-1	☎0279-75-3937
高崎南SC	高崎市片岡町1-13-12	☎027-323-3787	長野原SC	吾妻郡長野原町大津140-1	☎0279-82-5588
吉井SC	高崎市吉井町下長根338-1	☎027-387-8718	下仁田SC	甘楽郡下仁田町中小坂64-1	☎0274-70-3202
			玉村SC	佐波郡玉村町福島88-3	☎0270-65-8975

群馬ヤクルトの歴史

1955(昭和30年)	前橋(前橋市清王寺町)・高崎・沼田・太田の、県内4社で創業「ヤクルト」の販売開始
1958(昭和33年)	群馬県ヤクルト協同組合を設立し、瓶詰め工場生産開始
1966(昭和41年)	婦人販売店制度導入
1967(昭和42年)	プラスチック容器導入
1971(昭和46年)	合併により5月18日群馬ヤクルト販売株式会社(前橋市高井町)設立 ヤクルト婦人販売店460人 化粧品事業開始
1975(昭和50年)	群馬ヤクルト「友の会」旅行関連事業開始
1979(昭和54年)	直販(店舗、給食、自動販売機)事業開始
1983(昭和58年)	ニューセンターシステム(NCS)営業展開開始 「問屋町サービスセンター」第1号店開設 初の託児所施設開設 旅行業登録
1986(昭和61年)	ヤクルトネットワークシステム導入
1989(平成元年)	対前年比売上伸長率全国第1位達成 CYS(コスメティックヤクルトスタッフ)導入開始 三輪バイク導入 営業直販部門で女性嘱託社員の積極的登用開始
1990(平成2年)	物流センターを新設
1992(平成4年)	全国ヤクルトグループ大会において、優秀販売会社として成果を発表
1995(平成7年)	化粧品ホームエステサービス開始
1996(平成8年)	お客さま向け情報誌「すてき!生活通信」創刊
1999(平成11年)	宅配部門に、電気自動車導入開始(190台導入)
2000(平成12年)	顧客管理システム(携帯端末)導入 2010年ビジョン策定 群馬県ヤクルト協同組合製造廃止
2001(平成13年)	コールセンター開設 群馬県ヤクルト協同組合から群馬県プロバイオティクス普及組合に名称変更
2002(平成14年)	ヤクルトグループ全国優秀販売会社賞受賞 お客さま向け工場見学開始
2003(平成15年)	EYS(エクセレントヤクルトスタッフ)制度開始 CS推進室設置 お客さま向け健康フェア開始

歴代社長

1955(昭和30年)-

前橋ヤクルト 星野 武之助

高崎ヤクルト 中村 初男

2004(平成16年)	ヤクルトグループ全国最優秀販売会社特別賞受賞 社会貢献委員会設置 ヤクルトご意見番設置 ISO9001認証取得
2005(平成17年)	群馬ヤクルト創業50周年 ISO14001認証取得 Pマーク認証取得 星野哲也 ㈱ヤクルト本社取締役就任 群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結
2006(平成18年)	ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)新設 ホームページ開設 ヤクルトスタッフの社員登用を開始
2007(平成19年)	「健康宣言」提唱"私たちはお客さまの健康に役立ちます"
2008(平成20年)	ヤクルトグループ「総合最優秀販売会社賞」受賞 前橋市が「乳酸菌飲料年間購入金額全国1位になる(総務省家計調査)」
2009(平成21年)	星野哲也 ㈱ヤクルト本社東日本支店支店長就任 ISO22000認証取得 高崎問屋町駅前サービスセンター移転・新築 高崎南サービスセンター移転・新築
2010(平成22年)	㈱ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門・化粧品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 全サービスセンターに入金管理機設置 渋川北サービスセンター新設
2011(平成23年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(2期連続) ㈱ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 電気自動車(商用車) 3台導入
2012(平成24年)	㈱ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞 宅配部門に新型電気自動車100台切り替え・導入 群馬ヤクルト本店改築・増築 太田宝泉サービスセンター新設
2013(平成25年)	㈱ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他4部門受賞 群馬県地域見守り支援事業協定の締結 ビジョン2020を策定 駒形サービスセンター移転・新築 みなかみサービスセンター移転・新築 藤岡南サービスセンター新設
2014(平成26年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(3期連続) ㈱ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 ヤクルトスタッフの社員登用8期目完了 東日本大震災 復興応援「がんばろう東北!」を企画

群馬ヤクルトの歴史

	群馬県庁旅行コーナー開設 下仁田サービスセンター移転 前橋中央サービスセンター改築 平成大橋サービスセンター改築 長野原サービスセンター新設
2015(平成27年)	群馬ヤクルト創業60周年 (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 プロジェクトチーム発足 (ビジョンプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリング・DBプロジェクト、CSネットワーク推進連絡会議) ビジョン2020+策定 社内広報誌「Voice」発刊、ふれあいエピソード集「スマイルレポート」発刊 「Voice会議」を設置 共有プログラム『★STAR'S活動624』スタート ヤクルトスタッフ週休3日制テスト導入
2016(平成28年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結 第2期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリングDBプロジェクト) 「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」の価格改定 2016年版宅配・化粧品サービス成功事例集発刊 笠懸サービスセンター移転・新築
2017(平成29年)	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(4期連続) (株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞 前橋市と「健康づくり推進連携協定」を締結 高崎市と「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」を締結 玉村町と「地域社会づくり連携に関する協定」を締結 藤岡市と「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」を締結 第3期プロジェクト始動(価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト) サークル活動始動(管理栄養士サークル) 2017年版宅配・化粧品サービス部成功事例集発刊 ヤクルトスタッフへ軽自動車導入開始(3か年計画) 富士見サービスセンター新設 藤岡サービスセンター移転・新築 大胡サービスセンター移転・新築
2018(平成30年)	(株)ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞受賞 渋川市と「連携協力に関する協定」を締結 安中市と「連携協力に関する協定」を締結 富岡市と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結 沼田市と「連携協力に関する協定」を締結 第4期プロジェクト始動(エリア価値普及プロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、新世代プロジェクト) サークル活動第2期(管理栄養士サークル) 健康優良企業に認定 「ヤクルト届けてネットサービス」の開始 ヤクルト健康プラザ(前橋北・高崎西)廃止 第4世代型携帯端末(スマートフォン)の導入

1971(昭和46年)-

4つのヤクルトが合併
「群馬ヤクルト販売株式会社」設立

1971-

竹田 久三

1972-

中村 初男

前橋北サービスセンターの移転・新築
高崎西サービスセンターの移転・新築

2019(令和元年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞、化粧品部門優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、売上指数優秀賞
甘楽町と「甘楽町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
榛東村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
第5期プロジェクト始動(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
サークル活動第3期(管理栄養士サークル)
健康経営優良法人2020を取得
ヤクルト400発売記念／代田 稔博士生誕120周年企画実施
電子決済サービスの導入(QRコード決済)
松井田サービスセンターの移転・新築

2020(令和2年)

ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(5期連続)
ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品部門、化粧品売上高インデックス値部門)
(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞、量販店マーケット優秀賞
吉岡町と「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」を締結
嬭恋村と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結
みなかみ町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
中之条町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
前橋市と「地域社会づくり包括協定」を締結
東吾妻町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
高崎市教育委員会より社会功労者表彰
群馬県老人クラブ連合会と「地域づくり連携協定」を締結
第6期プロジェクト(新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト)
第5期サークル活動(管理栄養士サークル)
健康経営優良法人2021中小企業部門(ブライツ500)認定
内部統制によるコーポレートガバナンスの認定
新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定及び対応

2021(令和3年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
高崎市と「包括連携に関する協定」を締結
群馬県社会福祉協議会と「包括連携に関する協定」を締結
桐生警察署と「桐生警察署管内防犯ネットワークに関する覚書」を交わす
第7期プロジェクト(新ビジネスプロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト、SNSつながるプロジェクト)
健康経営優良法人2022中小企業部門(ブライツ500)認定
(株)ヤクルト本社 代表取締役 成田社長来社
経営戦略本部新設(未来価値創造部、広報部、人材開発部)
化粧品サービス部を宅配サービス部へ編入
群馬ヤクルト～中期経営計画2035～策定

2022(令和4年)

(株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞
(株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞
昭和村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結
南牧村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結

1999-

本田 博己

2003-

星野 哲也

群馬ヤクルトの歴史

片品村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 みどり市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの包括連携協定」を締結
 高山村と「地域づくりに関する包括連携協定」を締結
 長野原町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 第8期プロジェクト(プラットフォーム型ビジネスプロジェクト(ボールウォーク事業検証・スクール連携事業検証)、
 エンゲージメント向上プロジェクト)
 DX推進委員会発足
 SNSマーケティング委員会発足
 健康経営優良法人2023中小企業部門(ブライツ500)認定
 「私たちが大切にしている価値観(5つの価値観)」改訂
 従事者教育研修プログラム:マイスター制度策定・導入
 執行役員制度導入
 DX推進部創設
 第28回上毛新聞広告賞 優秀賞 受賞「あなたの町に健康を届けるヤクルトレディ」

2023(令和5年) ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞(6期連続)
 ヤクルトグループ部門優秀賞受賞(乳製品人口比部門、化粧品インデックス値部門)
 (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配重点商品優秀賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞受賞、給食チャネル優秀賞
 群馬医療福祉大学と「産学連携協力に関する協定」を締結
 神流町と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 川場村と「地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 桐生市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトとの地域社会づくりに関する包括連携協定」を締結
 第9期プロジェクト(健康経営プロジェクト、子ども食堂プロジェクト、スクール連携プロジェクトSeason2)
 女性活躍支援～さくらMINTプロジェクト～発足
 健康経営優良法人2024中小企業部門(ブライツ500)認定
 日本生産性本部(経営品質協議会)「経営デザイン ランクアップ認証」取得
 高崎北(旧群馬町)サービスセンター移転・新築
 渋川サービスセンター移転・新築

2024(令和6年) (株)ヤクルト本社東日本支店(宅配部門)乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞、宅配部門宅配乳製品優秀賞、宅配部門ヤクルト
 400W努力賞
 (株)ヤクルト本社東日本支店(直販部門)優秀販売会社賞、実数指数優秀賞
 一般社団法人群馬県ボールウォーキング協会設立
 前橋市社会福祉協議会と「地域社会づくりに関する連携協定」締結
 太田市と「両毛ヤクルト及び群馬ヤクルトにおける地域社会づくりに関する包括連携協定」締結
 第10期プロジェクト(DXプラットフォームプロジェクト、子ども食堂プロジェクト、健康経営さくらMINTプロジェクト、スクール連
 携プロジェクトSeason3)
 健康経営優良法人2025中小規模法人部門(ブライツ500)認定
 安中サービスセンター移転・新築

2015-

塩谷 輝行

ヤクルトの原点 代田イズム

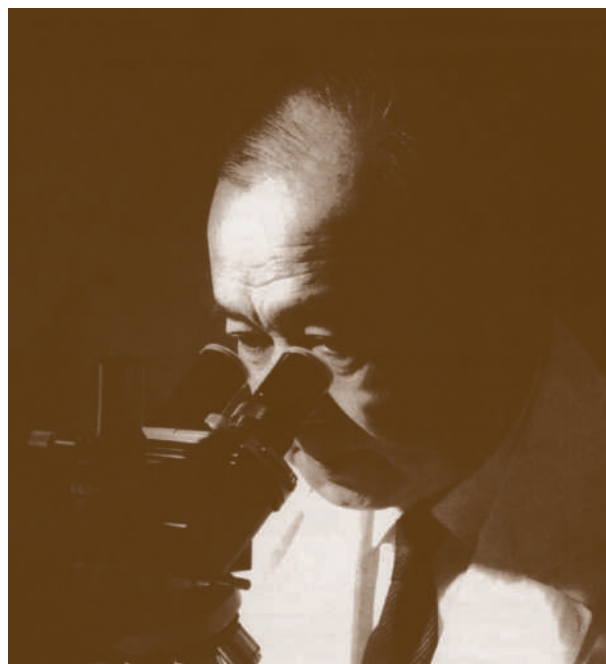
健康への情熱と発想、 世界の人々の健康を守りたい

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が京都帝国大学(現在の京都大学)で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

そんな現実に関心を抱いていた医学生時代の代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功します。

それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる学術名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸菌です。



代田 稔(1899～1982)

医学博士
株式会社ヤクルト本社
元代表取締役会長兼
中央研究所所長

生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、昭和57年、82歳で生涯を閉じる。

ヤクルトでは、 創始者である代田の考えを「代田イズム」と呼び、 現在もすべての事業の原点としています。

代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志と共に安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化します。そして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

世界の人々の健康を守りたい。

代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。

